

マイサークル

越河少年野球クラブ

171

～ただいまクラブ員募集中です～

- 練習日時／毎週土曜日 13:00～17:00
毎週日曜日 8:00～12:00
- 場 所／越河小学校



当クラブは毎週土曜日と日曜日に越河小学校で、山田明義監督、佐藤英雄コーチ、佐久間弘コーチのもと、キャッチボールやバッティング、守備練習と、基本を大切に練習しています。

これまでに多くの大会へ積極的に出場し、野球を通して子供たちの健全な育成を図ってきました。女の子の多いチームで、みんな元気よく一生懸命練習しており、これからの成長がとても楽しみです。

現在、男子9人、女子4人の計13人で活動していて、学年を問わず広くクラブ員を募集しています。「野球が好き!」「楽しく体を動かすのが好き!」という小学生はぜひ一度練習を見に来てください。一緒に気持ちいい汗を流しましょう!

☎吉野 俊暁 ☎28-2306
阿部 義和 ☎28-2715

市民文芸

応募方法 (4月から応募先が変わりました)
一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき1枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。
Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

朝市に売らるる策のモクスガニ己が値札をうごかしてあり
鈴木 和江
日曜日単身赴任の子も孫も老夫丹精の苗を田植えず
高子うこん
身のこなし春ともなれば軽やかに土手のみどりをさけて歩みぬ
荒木喜代子
ハウスもの技術上げれば一年中出まわりて句を忘れそうなり
八嶋 正子
ドライブの疲れを癒す立ち寄り湯ながる湯音もひとり占めにす
水戸 光穂
沈丁の花の香りも流れ来て日ねもす飽かず草を引くなり
大槻 正兄
スーパーに求めし菖蒲風呂に入れ節句を待たず今宵たのしむ
平間 久子
通院時だけの外出はや三とせ四季の移り肌で感じる
大野 一生
若葉薫る朝の清しき風に乗りこけし祭りの花火聞こゆる
山田 濱
紺碧に白を巧みに織り交せて絵画となれる蔵王連峰
河野 大地

【評】一首目、風目詠。「己が値札」は巧みで観察が行き届く。哀れに思われたのであつたらう。二首目、「老夫丹精」は作者の特に言いたかったところ。お元気で何よりと思う。三首目、いたわりのお気持ちとともに、ス Tepp を踏まんばかりの喜びが伝わる。

俳壇

遠藤 秋尾 選

いろいろのこの人生を花吹雪
鈴木 民子
猫の子を叱りをる声甘かりし
山家 弘子
追伸に嫁さん早く窓若葉
近藤三容子
祭笛誘われ行つてみることに
日下 文
義経の硯石とやあやめ咲く
制野 リエ
百才のみ佛となる花水木
高子うこん
岩松 隆志

柳壇

米澤 礼子 選

病院のベットで聞きし遠花火
遠藤 忠臣
花桃を右に左に里山路
福原 峯子
空と雲仲間に入れて花の旅
大庭 良子

【評】一句目、花吹雪を見ながら過ぎし日々を想う句。二句目、猫の子と家族との温かい姿を句に。三句目、便りの末尾に良い嫁さんを早くねと書かれてある。若葉の季節が生きている俳句。
市民初心者俳句講座も二年目に入りました。皆さん、楽しく勉強されています。
毎月第一日曜日、本町のふれあいプラザで12時30分から行っております。

呼び名より慈愛が欲しい認痴症 阿部はぎの
気休めの嘘も混ぜてる見舞客 四電 英夫
鬼ばかりされど女神も居る世間 一條 芳子
高齡化町のマドンナ六十才 水戸 光穂
絆とはなんだ子殺し親殺し 草野 清
百敗を應援してゆく悲壮感 佐藤 尚志
病みあがり妻を助けてお三どん 高橋 要一
言うなよと孫に教えたことを聞き 小野嘉津子
そよ風や芝桜達と添い寝する 阿部みさ子
笑顔あるフーセンパレー声高く 大庭 良子

【評】一句目、痴呆症から認痴症へ、こんな言葉聞いた。認痴症には慈しむ愛の心、共に楽しみ、共に悲しむ、そして真心で接するとき心が通じるといふ、呼び名より愛の心を。二句目、「今日は顔色がいいね」と笑顔の見舞客の第一声。そのひと声に元気づけられ心機一転快方に向かう、こんな嘘なら大いに結構。
三句目、私たちは一人では生きられない。鬼も女神も同居する世間で生活している。自分が鬼になれば向こうも鬼、女神で接するときは女神になる。自分の心次第と思う。前向きに考え明るく生きていこう。



国際コーナー International Corner

「あふれる感謝の気持ち」

今回の国際コーナーは、一番書きたくないけれど書かなければならない辛いトピックです。私は、今月の末に国際交流員としての任期を終え、帰国することになりました。2年前に白石市に到着した日の夕方、自転車ですり歩いて、夕食に吉野屋の牛丼を食べたことを今でも覚えています。大好きな白石市から離れる現実と向き合うことが、いまだにできません。来白する前には、出会いがあれば別れがあると覚悟してきたにも関わらず、言葉にならない辛さを感じています。日本は台湾、オーストラリアに続く私の第三のふるさとです。白石市に来る前に、名古屋に1年住んだことがありますが、ホストファミリー以外の市民との交流はありませんでした。白石市に来て英語と北京語の講座、EIGOで話そう、学校訪問、国際交流水泳大会と、いろいろなイベントを通じて、市民の皆さんとの交流を楽しんできました。このような皆さんの交流を通して、私にとっての日本のふるさととは、名古屋より白石市の方だと感じています。これも、皆さんが最初から無条件に私のことを受け入れてくれたおかげです。いつも私のことを温かく見守ってくれて、いつも私のこと支えてくれて、病気のときは栄養たっぷりの食べ物を作ってくれて、私を寂しきさせないように遊びに連れて行ってきて、いろいろな迷惑をかけてすみませんでした。皆さんがいたから両親は私のことを全く心配することはありませんでした。本当にありがとうございました。昨年12月、人生は短い、時間は大切にしようと考え

せられる出来事がありました。そのとき、私は帰国しようと決意しました。白石市からは、まだ学ばなければならないことがたくさんあるけれど、いつまでも皆さんに甘えてはいけません。台湾に帰り、白石市で得た経験を生かせる仕事を見つけて、さらに有意義な人生を歩もうと考えています。日本は私の楽園です。体を休めたいとき、ほっとしたいとき、くつろぎたいときはきっと帰ってきます。5月の連休が終わり、今まで嫌だった帰国の準備をやっと始めました。しかし毎回「帰国」「別れ」などの言葉を口にすると、目が潤んできて胸がキュッと痛みます。仕事中は押さえることができますが、一人ではもうすぐ帰るのだと思うと、皆さんのことが頭に浮かんで涙がポロポロ。皆さんともっともっとたくさんの思い出をつくりたいと思い、この数カ月はいっぱい遊んできました。でも、これから私は何をやっても、もうこんなふうには楽しめないと思うとすぐ落ち込んでしまい、本当に申し訳なかったと思っています。皆さんはひどいよね、こんなにいっぱい思い出があれば白石市との別れは楽になったのに…。皆さん、この2年間本当にどうもありがとうございました。一人一人に言いたいけど、そうすると泣きすぎて帰るまでに失するかもしれません。みなさんの微笑みは、私の元気の源です。その微笑みを忘れないでください。またいつか会える日が来ると信じています。

市内イベント掲示板 (7月1日～8月5日)

開催日	時間	イベント名	場所	有・無料	問い合わせ先	備考
5月24日(火)～7月11日(月)	9:00～17:00	第47回全日本こけしコンクール入賞作品展	弥治郎こけし村	無料	弥治郎こけし村 ☎26-3993	17頁掲載
7月 2日(土)	17:30開場 18:00開演	小椋佳コンサート 歌談の会	ホワイトキューブ	4,500円 (全席指定)	ホワイトキューブ ☎22-1290	
7月 3日(日)	8:30～	第45回白石市総合体育大会	ホワイトキューブ他	無料	社会教育課 ☎22-1343	
7月 3日(日)	10:00～15:00	碧水園茶会 ※7/24も開催	碧水園	お茶券400円	古典芸能伝承の館 ☎25-7949	18頁掲載
7月 4日(月)・5日(火)	9:30～12:30	Re・Beワークセミナー	ふれあいプラザ	受講無料 ※申込必要	ふれあいプラザ ☎22-6025	
7月 6日(水)	15:00～17:00	ファミサポ講演会	ふれあいプラザ	受講無料 ※申込必要	しろいファミリーサポートセンター ☎25-5488	22頁掲載
7月14日(木)	15:00～	おはなしひろば	図書館	無料	図書館 ☎26-3004	22頁掲載
7月16日(土)	10:00～11:30	定期リサイクル教室 「牛乳パックから作る菱形変形花瓶」	いきいきプラザ	無料・材料持参 ※連絡必要	いきいきプラザ ☎22-1635	17頁掲載
7月22日(金)	9:30～	夏休み子ども会	図書館	参加費400円	図書館 ☎26-3004	16頁掲載
7月23日(土)	8:30～12:00	いきいきプラザフリーマーケット	いきいきプラザ	入場無料 ※出店希望者連絡必要	いきいきプラザ ☎22-1635	17頁掲載
7月26日(火)	14:00～	おはなしキャラバン	図書館	無料	図書館 ☎26-3004	16頁掲載
7月29日(金)	9:30～	手づくり絵本講習会 ※8/4も開催 ※対象:7/29・8/4の両日参加可能な方	図書館	無料	図書館 ☎26-3004	16頁掲載
7月30日(土)	10:00～15:30	さわやかフェスティバル	ホワイトキューブ	入場無料	健康推進課 ☎22-1362	26・27頁掲載